

統計調査士 出題範囲表

NO	出題範囲項目			
	大項目	中項目	小項目	
A. 統計の基本				
1	統計の意義と役割		① 統計の概念と歴史	
			② 統計の種類	
			③ 統計と社会の関わり	
2	統計法規	(1) 統計法の基本的内容	① 統計法の果たす役割, 統計法の目的・理念	
			② 統計の整備, 統計調査の種類	
			③ 調査結果の利用・提供	
		(2) 統計法に関連する他の法規	④ 秘密の保護・守秘義務, 罰則	
			① 統計法に関連する法規 (統計法施行令, 統計法施行規則, 統計業務に関するガイドラインなどの内容)	
② 統計と関連する他の法律				
B. 統計調査の実際				
1	統計調査の基本的知識	(1) 統計機構と統計調査の流れ	① 我が国の統計機構 (調査実施府省と総合調整機関, 分散型統計機構, 統計委員会)	
			② 統計調査の流れ (国と地方の機能分担, 地方統計機構, 民間事業者の活用)	
			(2) 統計調査の企画から公表まで	① 統計調査の企画 (目的, 調査対象と調査単位, 事業所の定義, 世帯の定義, 調査事務の管理)
				② 標本設計 (単純無作為抽出法, 層化抽出法, 多段抽出法, 集落抽出法, 系統抽出法など)
				③ 結果の推定と調査誤差 (線型推定, 比推定, 標本誤差と非標本誤差)
		④ 調査事項 (調査票の設計, 調査事項の設定)		
		⑤ 統計基準 (日本標準産業分類, 日本標準職業分類など)		
		⑥ 調査方法 (自計式・他計式, 調査員調査, 郵送調査, オンライン調査など)		
		⑦ 審査と補定 (実査段階・集計段階での審査, 補定)		
		⑧ 統計の公表 (統計表の見方, 公表手順, 政府統計の総合窓口(e-Stat))		
2	統計調査員の役割・業務		① 統計調査員の使命と役割	
			② 統計調査員の法的位置付け, 身分, 報酬, 安全対策, 補償など	
			③ 統計調査員の業務	
C. 公的統計の見方と利用				
1	統計の見方	(1) 経済・社会統計の概要	① 経済・社会統計の概要	
			② 統計の主要な事項の基本概念 (調査対象と分析目的, 就業・雇用の定義, 結果の表章と留意点)	
		(2) 各分野の統計	① 人口統計 (国勢統計, 人口動態統計, 人口推計など)	
			② 労働統計 (労働力統計, 就業構造基本統計, 毎月労働統計, 賃金構造基本統計など)	
			③ 国民生活・家計収支統計 (国民生活基礎統計, 社会生活基本統計, 住宅・土地統計, 家計統計, 全国家計構造統計など)	
			④ 企業・産業統計 (企業活動と統計, 経済構造統計, 経済構造実態調査, 法人企業統計, 経済産業省企業活動基本調査など)	
⑤ 国民経済計算, 経済指数など (国民経済計算, 産業連関表, 景気指標, 消費者物価指数, 鉱工業指数など)				
⑥ 貿易統計, 国際収支統計, 金融統計, 財政統計				
2	統計データの利活用	(1) データの種類	① 質的変数と量的変数	
			② 名義尺度, 順序尺度, 間隔尺度, 比例尺度	
		(2) データの可視化	① 基本的なグラフ (棒グラフ, 折れ線グラフ, 円グラフ, 帯グラフなど)	
			② その他のグラフ (レーダーチャート, 地図グラフ, 人口ピラミッドなど)	
		(3) 度数分布とヒストグラム	① 度数分布, ヒストグラム	
			② ローレンツ曲線とジニ係数	
		(4) 代表値と散らばりの尺度	① データの代表値(平均値, 中央値, 最頻値)と分布の形状	
			② データの散らばり(分散, 標準偏差, 変動係数, 四分位数)と箱ひげ図	
		(5) 2変数の関係の分析	① クロス集計表	
			② 散布図と相関, 相関係数	
		(6) 経済統計データの分析	① 名目値と実質値	
			② 指数化	
③ 変化率と寄与度				
④ 季節性と季節調整				